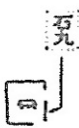
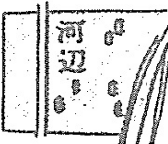
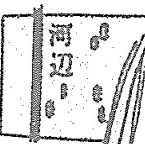


【第2巻】

〈本文〉

頁	行	誤（修正前）	正（修正後）
31	5	地変を生じた推定されている。	地変を生じたと推定されている。
54	1～2	治暦二年（一〇六六）	治承二年（一一七八）
61	11	亀屋天王社（那古野神社）	亀尾天王社（那古野神社）
90	10	伝達する	伝達させるべく、
101	図2-6	鵜沼	板橋 朝日頼清
		板橋 朝日頼清	鵜沼
106	4	慶範禅師との	慶範禅師の娘との
112	9	桐村家所蔵大「中臣	桐村家所蔵「大中臣
114	2	としたのである。	としたことがわかる。
118	5	尾張国の御家人も	尾張国の御家人にも
122	2	味鏡左衛門尉	味鏡太郎左衛門尉
145	17	一揆与（み）	一揆
146	15	その息の根を	尾張では活動の息の根を
200	写真4-1	万場大橋	万場小橋
203	11	とうみのり 鳥海里	とりうみのり 鳥海里
205	図4-1	（上部中央） 	（「石丸」の区画を網掛け） 
		（上部左） 	（「河辺」の区画を網掛け） 
		秦富	泰富

頁	行	誤（修正前）	正（修正後）
211	5	「上得実」「下得実」	「上得真」「下得真」
		「得実村」	「得真村」
287	11	江戸時代に	江戸時代の
303	3	であるという。	である。
396	3	下知状を得た尾張良継は	下知状を得たと尾張良継は
396	13	「祭主権宮司兼総検校	「祭主権宮司兼惣検校
406	13	尾張氏の還補を	尾張氏の還補を
415	8	市場の通りの西側	市場の通りの東側
415	9	その通りの向かい（東側）	その通りの向かい（西側）
430	10～11	篠島（当時は三河国に属する）	篠島（当時は尾張国に属していない）
437	3	承安五年（一一七五）の一切経	承安五年（一一七五）に発願された一切経
437	4	法楽教典	法楽経典
438	1	神も多いと	神社も多いと
440	14	泥江県神社	泥江縣神社
442	6	経聞房文書	経聞坊文書
442	15	泥江県神社	泥江縣神社
457	14	享祿四年（一四三三）	享祿四年（一四三二）
477	9	翌文明一〇年（一四七八）	翌文明一一年（一四七九）
521	2	「丹家之加藤図書助御方に」	「丹家之加藤図書助殿御方に」
521	4	「丹家」	「丹下」
521	15	「年貢状」	「年貢之状」
527	1	「血脈集」	「血脈衆」
528	7～8	三州より知行の故、国の御下知をかるんじ申たる由にて候」	三州より知行の故二、国の御下知をかるんじ申たる事にて候」
541	図6-4	彦三郎・治部少輔	彦三郎・治部大輔
565	15	この記事から	『満濟准后日記』の記事から

頁	行	誤（修正前）	正（修正後）
576	16	津島隼人佐	豊島隼人佐
620	16	平手正秀	平手政秀
648	写真6-47	能楽堂地点SK01	能楽堂地点SK10
676	写真7-7	『東涯便覧図略』	『東街便覧図略』
746	17	葉栗郡西部	葉栗郡東部
807	2～3	東加藤家嫡男又八郎武公 （順世の長男）	東加藤家嫡男又八郎武公 （順政の長男）
818	2	はじめ忠兼	はじめ忠康
821	16	以下一〇組	以下九組
		組頭一〇人	組頭九人
821	17	阿部河内守・松井石見守・ 興津文右衛門	阿部河内守・興津文右衛門
822	1	六人	五人

<参考文献一覧>

頁	行	誤（修正前）	正（修正後）
21	下から8行目	(財)愛知県埋蔵文化センター	(財)愛知県埋蔵文化財センター

<写真・図・表一覧>

頁	行	誤（修正前）	正（修正後）
7	左31	[7-7]	
		『東涯便覧図略』	『東街便覧図略』

<協力者一覧>

頁	行	誤（修正前）	正（修正後）
		妙眼院	明眼院

<新修名古屋市史 第二巻執筆者>

頁	行	誤（修正前）	正（修正後）
		「熱田の神事・芸能」	「熱田社の神事・芸能」